

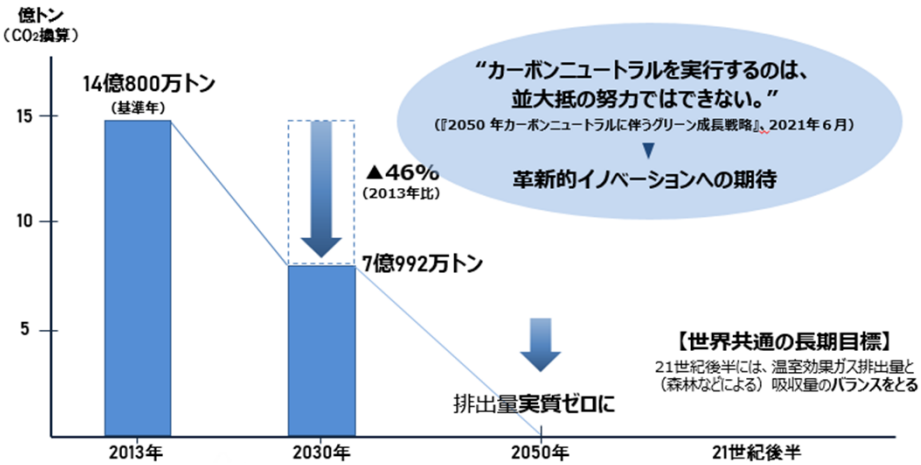
背景・目的

- 気候変動とエネルギーの安定供給への対応は、世界共通の課題
- 水素が活用されている「水素社会」の実現は、温室効果ガスの削減等の課題解決に貢献
- H2Osakaビジョン策定（2016年3月、大阪府）

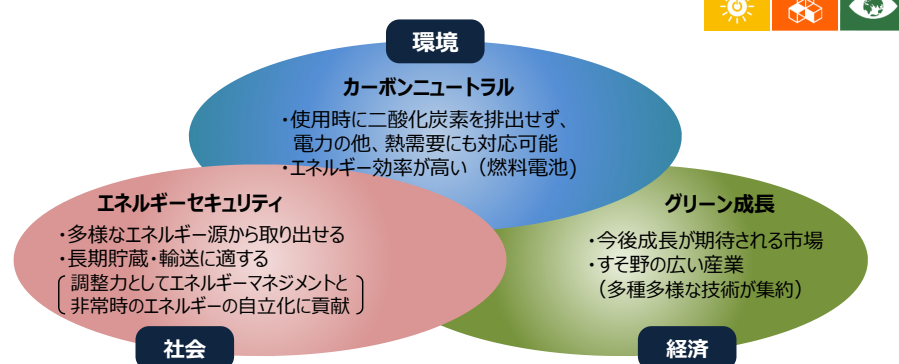
目的：水素関連産業の取組の方向性を示し、水素の需要拡大につながる新たな製品・サービスの実用化を図ることで、**水素利用の幅の拡大につなげる**

- 2020年10月の政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」、2025年大阪・関西万博（以下「万博」という。）の開催等の状況も踏まえ、H2Osakaビジョン推進会議（※）を主体として、「H2Osakaビジョン2022」を策定

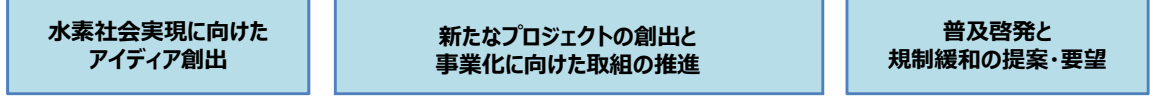
※ 2016年8月に設置した、産学官のプラットフォーム



<水素の有望性>

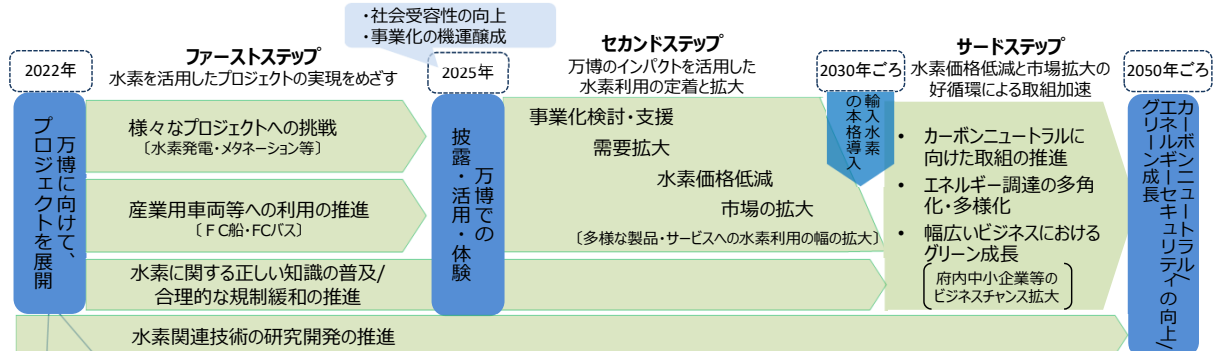


取組の基本方針



取組の方向性 — 利用分野を中心とした取組を推進 —

- ・ 研究開発を推進しつつ、当面の間、水素利用の拡大につながる**新たなプロジェクトを創出し、事業化につなげる**とりわけ、**万博を契機としたプロジェクトの実現に向けて産学官一体で取り組んでいく**
- ・ 万博を契機に、水素の社会受容性等の向上や、事業化の加速、関連産業の振興、とりわけ府内中小企業等へのビジネスチャンス拡大等を図るなど、中長期的視点からの取組を推進しつつ、水素のCO2フリー化についても進めていく



万博での水素の活用/プロジェクトの提案概要（全体イメージ）



※ 2020年8月に、「H2Osakaビジョン推進会議」が公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に提案